

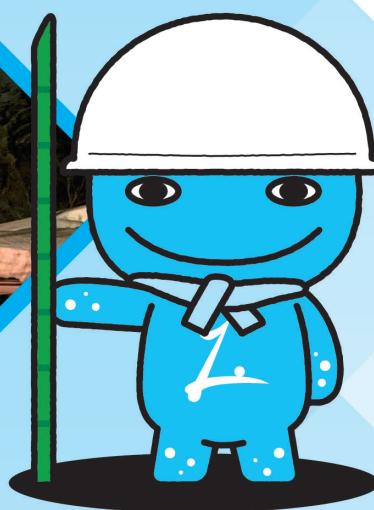
六郷のカマクラ

毎年2月中旬から5日間にわたって行われる「六郷のカマクラ」は、新年の幸せを願う小正月行事として、700年余りの歴史があると言われています。期間中は、願い事を記した「天筆」が各家々の戸口に立てられるほか、各町内に作られたトリゴヤ（鳥追い小屋）では、餅やミカンを食べながら談笑を楽しむ人々の姿が見られます。

最終日の夜、秋田諏訪宮前のかまくら畠では「天筆焼き」と「竹うち」が行われます。神主の祝詞に続き、会場中央の松ニオに火が入れられると、人々はそこで天筆を焼き、神様に願いを届けます。また天筆焼きの前後で行われる「竹うち」は、新しい年の米の豊作と繁盛を占う行事として長年親しまれています。

地域住民の伝承意識と努力により「六郷のカマクラ」は現在も本来の姿を保ち続けています。古くから続く町の伝統行事に、皆さまもぜひご参加ください。

このページに関する問い合わせ
●六郷のカマクラ行事継承会事務局
☎0187(84)0020



天筆書き体験

願い事を天筆に託してみませんか。どなたでも参加できますので、お気軽にご来場ください。

期 間 ◆ 2月10日(火)～14日(土)

会 場 ◆ 名水市場湧太郎「國之譽ホール」

料 金 ◆ 大人：1,000円(ニコサイダー付き)
15歳以下：600円(ニコサイダー付き)
美郷町民：500円

※1人1セツトです。

鳥追い行事

雪室(鳥追い小屋)や雪宮が各町内に作られます。もともと、害鳥を追い払うために子どもや老人が詰めた田畠に作られた小屋のことですが、ここでは正月の雪の中で疑似の農作業を行い、新年の豊作を願う農耕予祝行事の一つです。



関連行事・イベントスケジュール

会場案内 MAP



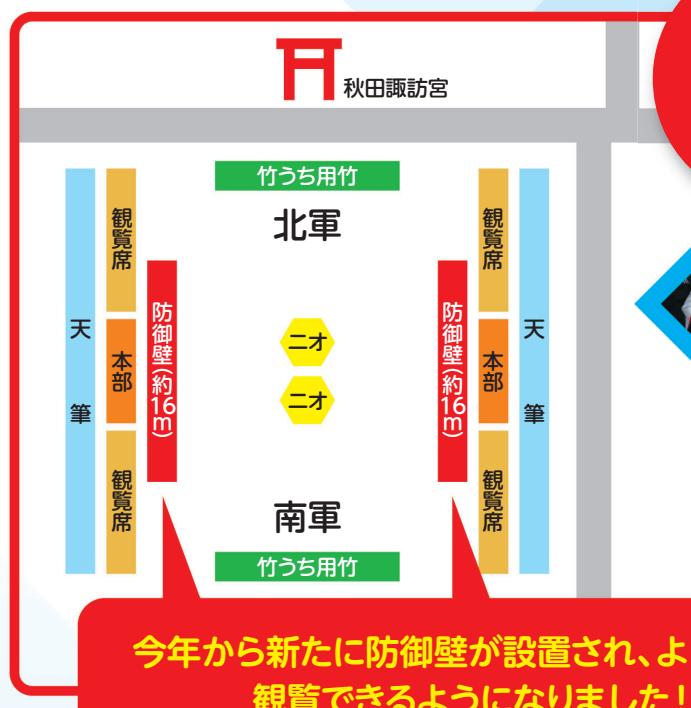
六郷地区の町内が南軍と北軍に分かれ
7~8メートルの青竹で打ち合います。
南軍が勝つと米の値が上がり、北軍が勝
つと豊作になると伝えられています。

日 時 ◆2月14日(土) 午後8時~

会 場 ◆かまくら畠(秋田諭訪宮前)

※当曰は午後5時から飲食店等の出店もあり
ます。清水の学習・案内所「水の休み場」通り
沿いに特設販売所を設置します。

竹うち



今年から新たに防御壁が設置され、より安全に
観覧できるようになりました！



松飾り・お札類の 収集について

2月14日(土)にかまくら煙で燃やす松飾り・お札類は、町内を巡回して収集します。地区ごとの収集場所・時間は次のとおりです。



スルガニス

松飾り・お札類を当日、会場へ持ち込まないようご協力をお願いします。渋滞や事故の原因となる可能性があります。